



## 平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 三信電気株式会社

コード番号 8150 URL <http://www.sanshin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (COO) (氏名) 鈴木 俊郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 財務本部長 (氏名) 御園 明雄 TEL 03-3453-5111

四半期報告書提出予定日 平成29年8月8日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	35,192	△9.9	97	—	125	—	△150	—
29年3月期第1四半期	39,061	△16.2	△470	—	△1,494	—	△1,066	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 △77百万円 (—%) 29年3月期第1四半期 △2,148百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	△5.34	—
29年3月期第1四半期	△37.86	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	93,477	61,037	65.3
29年3月期	94,144	61,537	65.4

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 61,037百万円 29年3月期 61,537百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	10.00	—	15.00	25.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	10.00	—	15.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	79,000	△7.4	480	—	450	—	100	—	3.55
通期	185,000	10.3	1,550	92.7	1,380	—	700	—	24.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

詳細は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	29,281,373株	29年3月期	29,281,373株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	1,102,633株	29年3月期	1,102,630株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	28,178,740株	29年3月期1Q	28,178,897株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であって、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、欧米におきましては景気は回復基調で推移し、新興国におきましても持ち直しの動きが見られたものの、米国政権の政策動向や地政学的リスクの高まり等、依然として先行き不透明な状況で推移しました。我が国経済につきましても、景気は緩やかな回復基調で推移したものの、世界経済の不確実性の高まりなど景気押し下げリスクを払拭できず、力強さに欠けるものとなりました。

当社グループの事業領域であるエレクトロニクス業界におきましては、自動車の先進運転支援システムやI o T (Internet of Things)、M2M (Machine to Machine) 等に関連する市場の成長が続きました。また、国内IT業界におきましては、クラウドやビッグデータ、セキュリティ関連を中心にIT投資が増加基調で推移しました。

このようななか、当社グループでは平成33年3月期を最終年度とするV70中期経営計画のもと、自己資本当期純利益率(ROE)5%および経常利益30億円の達成に向け、デバイス事業では市場成長が見込める分野への傾注と高収益ビジネスの比率向上を軸に事業ポートフォリオ改革に努めるとともに、為替や在庫のリスク管理のほか、人員の適正化に向けた希望退職の実施ならびにオペレーションの効率化等を通じて既存ビジネスの収益性改善にも鋭意取り組みました。また、ソリューション事業では顕在化した商談の成約に努めるとともに、クラウドサービスのメニュー拡充や顧客資産の共有によるビジネス・ユニット間のシナジー創出等、中長期的な成長に向けた収益基盤の構築にも努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は351億92百万円(前年同期比9.9%減)、営業利益は97百万円(前年同期は4億70百万円の営業損失)、経常利益は1億25百万円(前年同期は14億94百万円の経常損失)となりました。また、希望退職の実施に伴う特別退職金(2億29百万円)を特別損失として計上したことから、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億50百万円(前年同期は10億66百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

なお、セグメント別の業績概況は次の通りであります。

## (デバイス事業)

デバイス事業におきましては、主にエレクトロニクスメーカー向けに半導体(システムLSI、マイコン、液晶ディスプレイドライバIC、メモリ等)や電子部品(コネクタ、コンデンサ、回路基板等)の販売に加え、ソフト開発やモジュール開発等の技術サポートを行っております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、前年同期に比べ素材関連の販売が低調に推移したことにより社会・産業分野向けが減少したこと、また主要仕入先の製品戦略変更に伴い、TOY分野向けが減少したことから、売上高は329億93百万円(前年同期比10.7%減)となりました。なお、損益につきましては、総利益率の改善に加え、前年同期に発生した為替差損や在庫の評価損を大幅に削減できたことから、セグメント利益は1億37百万円(前年同期は14億73百万円の損失)となりました。

## (ソリューション事業)

ソリューション事業におきましては、情報通信ネットワーク事業を核に主に民間企業や官公庁、自治体向けにインフラ設計や構築、その運用保守を行っております。特に基幹業務系のシステムにつきましてはパッケージソフトの提供から個別開発によるカスタマイズなど派生するサービスも提供しております。また、放送局やプロダクション向けに海外の仕入先製品を中心とした映像コンテンツの編集や送出、配信システムの構築も行っております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、組み込みシステムの販売が低調だったものの、その他は概ね堅調に推移したことから、売上高は21億99百万円(前年同期比4.4%増)、セグメント損失は12百万円(前年同期は21百万円の損失)となりました。なお、ソリューション事業につきましては売上高が第2四半期および第4四半期に偏重する計画であることから、第2四半期以降はセグメント損益は黒字となる見込みです。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて6億66百万円減少し、934億77百万円となりました。これは主に売上債権の減少53億97百万円、未収消費税等の減少19億46百万円、商品の増加40億14百万円、現金及び預金の増加25億71百万円等によるものです。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて1億66百万円減少し、324億40百万円となりました。これは主に仕入債務の減少2億72百万円、賞与引当金の減少2億54百万円、短期借入金の減少1億89百万円、その他の流動負債の増加5億41百万円等によるものです。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて5億円減少し、610億37百万円となりました。これは主に利益剰余金の減少5億73百万円、その他有価証券評価差額金の増加62百万円等によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期(累計)連結業績予想につきましては、平成29年5月15日公表の予想から下記の予想に修正しております。通期連結業績予想につきましては、市場/顧客動向や販管費計画を精査した上で、修正が必要な場合には速やかに開示することとし、現段階では変更しておりません。また、配当金につきましても、1株当たり年間25円(中間10円、期末15円)とする当初予想を変更しておりません。詳細は、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 第2四半期(累計)連結業績見通し

売上高	790億円	(前年同期比 7.4%減)
営業利益	4億80百万円	(前年同期は1億92百万円の営業損失)
経常利益	4億50百万円	(前年同期は16億84百万円の経常損失)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1億円	(前年同期は19億66百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,599	22,170
受取手形及び売掛金	43,597	38,312
電子記録債権	9,009	8,897
商品	11,327	15,342
半成工事	1	37
その他	3,559	1,670
貸倒引当金	△7	△13
流動資産合計	87,088	86,416
固定資産		
有形固定資産	3,810	3,775
無形固定資産	312	293
投資その他の資産		
その他	2,948	3,006
貸倒引当金	△14	△14
投資その他の資産合計	2,933	2,991
固定資産合計	7,055	7,060
資産合計	94,144	93,477
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,717	16,444
短期借入金	13,124	12,934
未払法人税等	156	151
引当金	489	239
その他	1,274	1,815
流動負債合計	31,760	31,586
固定負債		
退職給付に係る負債	465	443
その他	380	410
固定負債合計	845	854
負債合計	32,606	32,440
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	14,811	14,811
資本剰余金	15,329	15,329
利益剰余金	31,923	31,350
自己株式	△764	△764
株主資本合計	61,300	60,727
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	654	716
繰延ヘッジ損益	△7	△10
為替換算調整勘定	△241	△252
退職給付に係る調整累計額	△168	△144
その他の包括利益累計額合計	237	309
純資産合計	61,537	61,037
負債純資産合計	94,144	93,477

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	39,061	35,192
売上原価	37,103	32,677
売上総利益	1,958	2,514
販売費及び一般管理費	2,428	2,417
営業利益又は営業損失(△)	△470	97
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	13	35
為替差益	—	27
その他	27	12
営業外収益合計	44	78
営業外費用		
支払利息	9	40
売上割引	7	5
為替差損	1,050	—
その他	0	4
営業外費用合計	1,068	51
経常利益又は経常損失(△)	△1,494	125
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	—	0
会員権売却益	16	—
特別利益合計	16	0
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別退職金	—	229
特別損失合計	0	229
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,478	△104
法人税、住民税及び事業税	92	56
法人税等調整額	△504	△10
法人税等合計	△411	45
四半期純損失(△)	△1,066	△150
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,066	△150

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純損失(△)	△1,066	△150
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△86	62
繰延ヘッジ損益	76	△2
為替換算調整勘定	△1,099	△10
退職給付に係る調整額	27	24
その他の包括利益合計	△1,081	72
四半期包括利益	△2,148	△77
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,148	△77
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	デバイス事業	ソリューション事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	36,955	2,105	39,061
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	36,955	2,105	39,061
セグメント損失(△)	△1,473	△21	△1,494

(注) セグメント損失は、四半期連結損益計算書の経常損失と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	デバイス事業	ソリューション事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	32,993	2,199	35,192
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	32,993	2,199	35,192
セグメント利益又は損失(△)	137	△12	125

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。